



■ 教会標語 ■ 『主の御声に聞き従う』  
 主の2019年9月1日  
 第101号 教会創立記念号

日本キリスト教団  
**泉ヶ丘教会**  
 牧師 上田 真由美

〒590-0114 堺市南区槇塚台 1-1-5  
 TEL/FAX 072-291-9532  
 izumigaoka9532church@yahoo.co.jp

■ 礼拝・集会 ■

- ・ 主日礼拝 (日) 午前10時30分
- ・ 教会学校 (日) 午前9時
- ・ 聖書を学び祈る会 (木) 午前10時30分
- ・ キリスト教講座・家庭集会
- ・ マリヤ会・テモテ会、他

愛は神から

牧師 上田真由美

ヨハネの手紙十四章七〜十二節

私たちが最も喜ばせ、また最も苦し  
 ませるもの、それは愛でしょう。人を愛  
 したい。けれども愛せない。自己愛が強  
 いために、おそらく死ぬまで、この苦しみ  
 は続くのだと思います。

ある人が 互いに愛し合おうと思うな  
 ら、顔を見つめ合うのではなくて、顔を  
 同じ方向に向けることだ」と言いました。  
 同じ方向とはどっちでしょうか。仕事？  
 趣味？同じ方向とは、神の方です。  
 人を愛そうとする時に、人だけを見  
 ていたら愛は生まれて来ない。しかし、  
 一緒に神の方に顔を向けていけば、つま

り神を礼拝し、神を愛する生活をして  
 いれば、二人の間に愛が生まれて来ると  
 言うのです。

イエス様ご自身も、律法の専門家から  
 神の掟の中で一番大事な掟は何です  
 か」と質問された時に、真つ先に 神を  
 愛しなさい」と言われています (マタイ  
 二十二・三十七)。神様を愛さなけれ  
 ば、人を愛することは成り立たないこと  
 をご存知だったのでしよう。

聖書は 互いに愛し合いましょ。愛は  
 神から出る (七節) と言います。あなた  
 は愛を持たないとダメだと言っているの  
 ではないのです。聖書は初めから、あな  
 た (人) の中には愛はないと言います。ア  
 ダムが罪を犯した話が聖書の初めにあ

るのも、人がどんなに神様を愛さないかを示すためだと言われています。そして、そうであるにもかかわらず、神様は人を愛してください、神様はあなたに真実な愛を貫いてくださる、それは変わらないと。

それでは、神様はどういうふうにあを愛してお出しになったのでしょうか。神様を愛さない者を赦してください。そういうふうにして愛をお出しになりました。私たちは神様を愛していません。それなのに、神様は、独り子を世にお遣わしになって「(九節) 私たちを愛してください。それは赦してください、ということでしょう。その赦す愛を知れば知るほど、実生活の中で人を愛そうと思ったら赦す以外にないし自分のことも赦してもらう他ない、ということに至るのだと思います。もし赦さなかったならば、どこにも愛はない。これは私たちが嫌というほど経験していることだと思のです。

そして愛というのは、泉のように湧き出るものではないことを私たちは知っています。家族や教会の兄弟姉妹を愛そうとして、忍耐を伴わないでいいような愛はない。愛があればあるほど、忍耐を

伴っているのではないのでしょうか。忍耐と愛とは結び付くもの。神様も、どんなに忍耐されたか。神は忍耐をもって、今まで人が犯した罪をお見逃しになった」(ローマ三・二十五)とあるように、人の罪を、忍耐をもって「見逃された」と言うのです。

幸いなことに、神様が私たち人間を愛し、愛を与えてくださいました。本来ならば、神様に愛される資格なんてない私たちが愛された。御子の死という犠牲を払って赦してくださいましたのです。

御子をお遣わしになりました。ここに愛があります」(十節)。御子が「互いに愛し合う」(七節)ための支えです。キリスト者の生活の特徴は、繰り返し礼拝の中の、御子の十字架の真下に立ち返って、そこでお互いを、同じ赦された神の子として、新しく受け入れ直すところにあります。そういう礼拝の生活が、私たちに愛をつくってくれます。愛とは、そういう愛の生活を励む時に自分が新しく変えられていくこと、人間が回復され人間が本当に人間になつていくことなのです。聖書が一貫して愛を語るの、そのためだと思います。